

教科	数学	科目	数学A	履修区分	選択	使用教科書	東京書籍『改訂版 新数学A (002-905)』 東京書籍『改訂版 新数学A 解答編(002-906)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 東京書籍インターネット講座

学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。  
 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。  
 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導			単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票 NHK高校講座 東京書籍インターネット講座		観点	評価規準
P. 4-21 場合の数	1	①	I・Ⅲ期	P. 12-13 P. 18-19 P. 22-29	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	集合の表し方や要素の個数の基本的な関係を理解し、表すことができる。和の法則、積の法則を理解し、それらを用いて場合の数を求めることができる。順列、組合せの意味を理解し、総数を求めることができる。
P. 22-29 確率	2					思考・判断・表現	身近な例に対して積の法則を適用することを通して、順列を総数を求める式を考察することができる。順列や組合せの考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めることができる。
						主体的に学習に取り組む態度	順列や組合せの考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めようとしている。順列について振り返り、順列と組合せを対比することによって、組合せの総数の求め方を考察しようとしている。
P. 30-37 確率	3	知識・技能	確率について理解し、場合の数をもとに事象の確率を求めることができる。確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求めることができる。余事象の意味を理解し、求めることができる。期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。				
		思考・判断・表現	確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。				
P. 40-49 平面図形の基礎	4	②	Ⅱ期	P. 52-55 P. 58-65		主体的に学習に取り組む態度	確率の性質を振り返って、事象の起こりやすさを判断しようとしている。
						知識・技能	確率について理解し、場合の数をもとに事象の確率を求めることができる。独立な試行、反復試行、条件付き確率の意味を理解し、求めることができる。期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。
思考・判断・表現	具体的な事象を基に、条件付き確率や確率の乗法定理を考察することができる。期待値を意思決定に利用することができる。						
主体的に学習に取り組む態度	具体的な事象を基に、条件付き確率や確率の乗法定理を考察しようとしている。期待値を意思決定に利用しようとしている。						
P. 50-57 三角形の性質	5				知識・技能	平行線と角の関係、多角形の内角、外角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。三角形の合同条件、相似条件を理解し、それらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。	
					思考・判断・表現	完成した作図をみて、作図の手順を説明することができる。	
P. 58-75 円の性質 空間図形	6	主体的に学習に取り組む態度	完成した作図をみて、作図の手順を説明しようとしている。				
		知識・技能	三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、線分の長さを求めることができる。三角形の重心、外心、内心の性質、角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを利用して線分の長さや角の大きさを求めることができる。				
		思考・判断・表現	中点連結定理を利用して、線分を3等分する方法を考察することができる。三角形の無い角の二等分線と比の定理を利用して、線分を与えられた比に内分する作図について考察することができる。				
		主体的に学習に取り組む態度	中点連結定理を利用して、線分を3等分する方法を考察することができる。三角形の内角の二等分線と比の定理を利用して、線分を与えられた比に内分する作図について考察しようとしている。				
		知識・技能	円の接線の性質、円周角の定理、円に内接する四角形の性質、方べきの定理を理解し、それらを用いて線分の長さや角の大きさを求めることができる。直線と平面の位置関係理解している。多面体、正多面体を理解している。				
		思考・判断・表現	円に内接する四角形の定理や接線と弦のつくる角の定理を利用して、方べきの定理を考察することができる。2つの円の位置関係を考察することができる。多面体の頂点の数、辺の数、面の数の間にある関係や、見え方について考察することができる。				
		主体的に学習に取り組む態度	円に内接する四角形の定理や接線と弦のつくる角の定理を振り返って、方べきの定理を考察しようとしている。				